

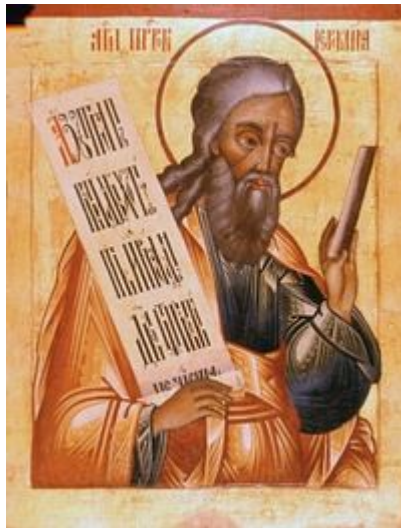
聖書の祈りが私の祈りになる（旧約編）

第6章 預言者における祈り⑤



エレミヤIV

困難な状況の中で幻滅し、暴風の中の木のように曲がってしまう時でも、神から召命を受けているリーダーたちは、その召命を下さった方に目を上げなければなりません。そうすれば、エレミヤのように勇気が新たにされることでしょう。「主は私とともにあって、**横暴な勇士のようです**」(20:11)。「横暴な勇士」が共にいてくださるといのは、その敵は完全に消し去られるわけではないにせよ、鎮圧されるという確かな知識です。「横暴な勇士」(ヘブライ語を見ると、神が主人であり、支配なさっているということがわかります)は、ご自分に属する者を守るために、その力を知らしめてくださるのです。



旧約聖書の祈りは大半が、公的なものであれ私的なものであれ、また、切迫した、絶望的な要求に満ちたものですら、神の偉大さ、憐れみ、大いなるみわざを思い起こすところから始まっています。これは、記された多くの祈りを学ぶまでもなく気づかされることです。畑を買い、署名をしてそれに封印をするようにという神の指示に従い、それを、神がやがてその土地を回復してくださる(そして、土地は買われて売られる)こととしとしてバルクに手渡した後、エレミヤは次のように祈りました。

「ああ、神、主よ。まことに、あなたは大きな力と、伸ばした御腕とをもって天と地を造られました。あなたには何一つできないことはありません。あなたは、恵みを千代にまで施し、…偉大な力強い神、その名は万軍の主です。おもんばかりは大きく、みわざは力があり、御目は人の子のすべての道に開いており、人それぞれの生き方にしがたい、行いの結ぶ実にしたがって、すべてに報いをされます。あなたは今日まで、エジプトの国で、イスラエルと、人の中で、しるしと不思議を行われ、ご自身の名

を、今日のようにされました。あなたはまた、御民イスラエルを、しるしと、不思議と、強い御手と、伸べた御腕と、大いなる恐れとをもって、エジプトの国から連れ出し、あなたが彼らの先祖に与えると誓われたこの国、乳と蜜の流れる国を彼らに授けられました。彼らは、そこに行って、これを所有しましたが、あなたの声に聞き従わず、あなたの律法に歩まず、… ご覧ください。… この町は、… カルデヤ人の手に渡されようとしています。あなたの告げられた事は成就しました。ご覧のとおりです。神、主よ。あなたはこの町がカルデヤ人の手に渡されようとしているのに、私に、『銀を払ってあの畑を買い、証人を立てよ』と仰せられます。』(エレミヤ書 32:17-25)

心から真摯な人物にとって、神の強力なみわざを振り返ることほど大きな励ましや後押しはありません(サムエル上 7:12、詩篇 78 を参照)。このようなことを実践に移していくとき、神にとっては困難なことなど何も無いという確信が、主の寛容の中で強められていきます。それは、暗闇の中の無力な口笛などではなく、安心や自信を育てるための巧みな心理学的操作でもなく、神の子ども一人ひとりに重要な意味を持つ、霊的な訓練なのです。このように神の素晴らしいみわざを語るエレミヤへの神の応答を見てみましょう。「見よ。わたしは、すべての肉なる者の神、主である。わたしにとってできないことが一つでもあろうか」(エレミヤ 32:27)。

哀歌でエレミヤが嘆いている状況は、エルサレムの陥落です。これは、彼が預言していた通りに起こりました。反逆的で悔い改めることのない人々を罰するために神から遣わされたのは、北からの敵(エレミヤ 6:22 を参照)でした。哀歌は涙と祈りで満ちています。どのような時代も、その時代なりの悲しみと痛みを体験してきているものですが、この書に反映されているほどの悲しみを生み出した時代はありません。

主よ。ご覧ください。私は苦しみ、私のはらわたは煮え返り、私の心は私のうちで転倒しています。私が逆らい続けたからです。外では剣が子を奪い、家の中は死のようです。彼らは私のため息を聞いても、だれも私を慰めてくれません。私の敵はみな、私のわざわいを聞いて、喜びました。あなたが、そうなさったからです。あなたが、かつて告げられた日を来させてください。そうすれば、彼らも私と同じようになるでしょう。彼らのすべての悪を、御前に出させ、あなたが、私のすべてのそむきの罪に対して、報い返されたように、彼らにも報い返してください。私のため息は大きく、私の心は痛みます。(哀歌 1:20-22)

ここには、真に悔いた心からの語りが見られます。哀歌はこのような心の態度の表れです。「悲しむ者は幸いです。その人たちは慰められるから」--- まさにイエスがマタイの福音書 5 章 4 節で触れている嘆きです。



質問

- 1 神が「横暴な勇士」のようであると言うとき、何を意味していますか？神が横暴な勇士のようであることは私たちにとってどのような点で助けになりますか？
- 2 神がエレミヤに、畑を買い、署名して封印するよう言われたのにはどんな意味がありましたか？
私たちはどんなに切迫した、絶望的な状況でもどんなことを思い起こすべきですか？
思い起こすためにはどうしたらよいと思いますか？
- 3 神の強力なみわざを振り返るなら、どんなことが私たちに起こりますか？
それは私たちの祈りにどんな影響を与えることができますか？
- 4 エレミヤはどんな悲しみと傷みを体験したので、涙と祈りで満ちた哀歌を記したのですか？
今日、私たちがエレミヤのように悲しみと必死な態度であなた自身、あなたの家庭、あなたの職場や学校や近隣社会に関して神に訴えるべきことはありますか？
- 5 今日読んだ箇所から、あなたは祈りについてどんなことを教えられましたか？
どんなことを実践したいと思いますか？



祈り

天の父なる神さま。あなたがされた恵みのみわざをいつも振り返らせて下さい。
私の思いが弱る時、あなたのわざを振り返ることで確信を強めて下さい。
あなたは祈り求めることに必ず答えて下さる方だと信じます。
どんな悲しみや痛みにもあなたは介入して下さいます。そこに私の希望があります。